


- ☆ 10月1日(火)より衣替えです。
1日～5日は移行期間(夏・冬の園児服どちらでも登園可)となります。
- ☆ 赤い羽根共同募金のご協力をお願いします。
- ☆ 毛野地区文化祭が10月19日(土)20(日)に実施されます。
会場は、毛野公民館です。しんまち保育園の子どもたちの作品も展示します。
是非お出掛けください。
- ★ 保育料の納入期限を守りましょう。今月の保育料の引き落としは
10月31日(木)です。事前に**残高の確認**をお願いします。

10月10日は「目の愛護デー」です



ちゃんと見えているかな？

▶ 当てはまるものがあれば受診して! ▶

<input type="checkbox"/> 物を見るとき、左右どちらかに頭を傾げる、顔を回す、あごを上げる(下げる)	
<input type="checkbox"/> 片方の目(視線)が内側に寄っている	<input type="checkbox"/> 片方の目(視線)が外側に向いている
<input type="checkbox"/> 目を細めて見る	<input type="checkbox"/> 極端に近づいて見ようとする
<input type="checkbox"/> 上目づかい(下目づかい)で物を見る	<input type="checkbox"/> まぶたの形(大きさ)に左右差がある
<input type="checkbox"/> 屋外で異常にまぶしがる・いやがる	<input type="checkbox"/> 瞳の中央(奥の方)が白く光る

視力の発達にはタイムリミットが

赤ちゃんや就学前の子どもは、0.2程度の視力があれば、不便なく日常生活を送れるため、多くの保護者は子どもの視力不良や、片目の視力だけが弱いことに気づきにくいといわれています。しかし、視力が発達するのは6～8歳まで。その年齢まで見えにくい状態を放置しておく、眼鏡をかけても視力が出ない「弱視」になってしまいます。気になることがあれば3歳児健診を待たずに受診して、**早期発見・早期治療**をすることがとても重要です。

薄着の習慣は **秋** からスタート

肌寒くなってくると、つい子どもに厚着をさせたりしますが、子どもは意外と寒さに強いもの。冬に向けて抵抗力をつけ、丈夫な皮膚を作っていくためにも、今から薄着を心がけていきましょう。

薄着で過ごすコツ

- 寒いときは薄手の上着で調節する
- 肌着を着て保温する
- おなかと背中が出ないようにする



大人より「少し遅く」「1枚少なく」!

大人が「長そでを着よう」と思ったとき、子どもは長そでにするのを少し遅らせる。大人が重ね着するとき、子どもには1枚少なく着せる。こうすると、自然と薄着が習慣づけられます。

* 秋冬のスキンケア 3か条 *

* * * * *

秋冬の乾燥した空気は、デリケートな子どもの肌には大敵。放っておくと、かゆかゆ、かさかさになってしまいます。「こまめに、丁寧に」日常的なケアをしてあげてください。

① たっぶり保湿
保湿剤は、お風呂上がりには必ず塗りましょう。肌に湿り気があるうちに使うと、角質層に水分を閉じ込められるので効果的。

② 清潔を保つ
顔に汚れなどが付いていたらきれいにふいて。お風呂ではごしごしこすらず、せっけんを泡立てて優しく洗います。

③ 刺激を少なくする
直接肌にふれる衣類は綿素材がお勧め。ポリエステルなどの合成繊維は静電気を起こしやすいため、皮膚を刺激してかゆみのもとに。

